2026年（令和 8年）10月号
はなみずき

納涼祭　けいふく祭

８月２日（日）に毎年恒例である納涼祭、「けいふく祭」が開催されました。

今年から２部制となり、午前の部と午後の部に分かれて催し物を行いました。

午前の部は、ニッポンスマイルプロジェクトのメンバーによる、みんなのたのしいコンサートで、歌とサックスの演奏をご披露して頂きました。

アニメソングや、皆様が聞き覚えのある曲などを、心地よい歌声で唄って下さいました。

午後の部は、毎年お馴染みの未来太鼓道場の皆様の太鼓の演奏で東京音頭などでは、ご利用者様も入り交じり、踊りながらの演舞となって大変な盛り上がりを見せました。

職員の出し物は、宮城県石巻市の伝統芸能踊りで「はねこ踊り」を演舞しました。



はねことは、土地の言葉で跳ねる人の意味で、４年に一度、９月１５日（旧暦８月１５日）に開催される例大祭の御輿渡御行列の中で、獅子舞や稚児行列、本御輿、法印神楽などと共に、賑やかに奉納される豊年踊りです。

はねこ踊りの由来は、言い伝えによると天明・天保の時代に度々未曾有の大凶作に見舞われていた村が、ある年、久しぶりに大豊作に恵まれ、神への感謝の気持ちを込めて神社にお礼参りをした。

そのとき、喜びのあまり村の人々が、笛や太鼓に合わせて面白おかしい身振りで踊り回ったのが「はねこ踊り」の始まりだといわれています。

今年は、初めての踊りで職員も戸惑っていた様子もありましたが、皆様のご協力のお陰で、なんとか無事お祭りを迎えることが出来ました。

２階介護　大山

お月見＆花火大会

昨年同様、９月２５日のお月見イベントとして、おやつの時間にご入居者様にお団子を作って頂きました。お団子をこねてから茹で、みたらしをかけ、召し上がって頂きました。

最初は「作るの難しいわ」「めんどくさい」等聞かれ渋い顔をしていらっしゃいましたが、いざ召し上がると「おいしい」「もちもちしてる」など笑顔を浮かべていらっしゃいました。

「みたらし以外にも、あんこがあればいいのに…」とおっしゃるご入居者様もいました。

来年はみたらし以外もあったらいいですね、とお答えすると「楽しみです。」とまた笑顔でお話されました。

今年度から花火大会は８月ではなく９月の開催となり、やや肌寒い日の開催でした。

今回は手持ち花火だけでは無く、置き型花火も今回は開催しました。ご入居者様の皆様は「わぁ、綺麗」「いいわぁ」と仰っていただき、開催出来てよかったなと思いました。

３階 介護 廣瀬



新人職員のご紹介

初めまして７月に入職しました。成田と申します。

前職で特養のユニット型で働いていました。ユニット型の特養とは業務内容も違い、また この仕事を始めて１年くらいなので、まだまだ未熟で、分からないことも多いと思いますが成長できるように、努力していきますのでどうぞよろしくお願い致します。

２階介護　成田

発行者
社会福祉法人
恩賜財団慶福育児会
特別養護老人ホーム
麻布慶福苑
〒106-0047
東京都港区南麻布5-1-20
℡03-3446-5501
http://www
azabukeihukuen.com

皆様からのご意見・ご感想
をお寄せ下さい。
お待ちしております